

気が付けば前職と合わせて27年が経ちました。その間に重度の方、軽度の方、お子さん、若い方、高齢の方など色んな人と出会い、利用者やその家族と一緒に笑ったり、怒ったり、泣いたりしながら、日中活動支援、就労支援、生活支援と色んな経験をしてきました。

私は今年50歳になります。論語で言えば「天命を知る」年齢です。「天命」などという大それたことはまだ分かりませんが、自分が今まで出会った皆さんから学んだ経験や「知」識をお返ししないといけない年齢になったのかと思います。

港第二育成園は若い利用者が多い事業所です。定年まであと10年のこの年齢になって、将来ある皆さんの支援をすることになったのも「天命」のような気がします。

まずは利用者一人ひとりをよく「知」り、彼らやご家族のニーズを「知」り、未「知」の可能性や未来を自分の「知」識と経験を活かして一緒に考える支援ができればと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

ワークスいけじま 管理者 足立 智宣



見

今年度より、ワークスいけじまの管理者を拝命しました足立です。ワークスいけじまは、ご高齢でなおかつ単身で生活されている方がたくさんおられます。そのため、日中活動の場として、毎日通っていただくためには健康を維持するということがとても大事になってきます。加えて地域で生活を送るうえで関係機関との連携は欠かせないと考えます。

利用者の皆さんは、働くということに、とてもプライドを持って取り組まれています。作業室に入るとすぐに今日の作業は何かとホワイトボードを確認されています。私分からない作業については、丁寧に教えてください。

始まったばかりで慣れないことに戸惑う日々ですが、ワークスいけじまの一員として前任者からの流れを引き継いでいけるよう日々取り組んでいきたいと思っています。

今回も漢字一文字というお題を頂きました。漢字を組み合わせて造語も検討しましたが、やはり『見』が

ふさわしいのではないのでしょうか。『見』だけでは分かりにくいかもしれませんが、ことわざの『百聞は一見にしかず』から引用しました。

実はこのことわざには続きがあります。簡単にまとめると聞くだけでなく見る、見るだけでなく考える、考えるだけでなく行動する、行動するだけでなく成果をあげる、成果をあげるだけでなく幸せや喜びにつなげる、それが自分だけでなく、みんなの幸せになることが大事というものです。

私一人では力不足ですが、ワークスいけじまのスタッフ5名で力を合わせて、皆さんの幸せを考えていければと思います。よろしくお願いいたします。

大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センター 管理者 藤原 勇治



気

令和2年度も引き続き大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センターの管理者を拝命いたしました藤原勇治です。皆様方には、引き続きのご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年2月頃より、大阪でも新型コロナウイルスの影響が始め、先月末には港区内でも複数の感染者が発生したそうです。大阪市では、市立学校等の臨時休校や、外出の自粛など要請の措置が取られ、毎日の報道では、様々な情報が発信されています。世界的にも毎日感染が拡大し、多くの死者も出ているようです。少しでも早く、この状態が収束し、これまでのような、ごく当たり前の日常が戻ることを強く願います。また、感染者の方々も一刻でも早い回復をお祈りするとともに、懸命に治療に当たっていただいている医療関係の皆様への敬意をお示しさせていただきます。ありがとうございます。

さて、昨年度に力を入れた取り組みの一つとして、突然事業を廃業した、あるA型事業所の利用者への支援があります。そのA型事業所はある日突然、普段直接利用者に関わることの無い経営者が事業所に来て、『今日をもって事業所を閉鎖する。また、2か月分の賃金の支払いができない。』との説明を行い、その後の利用者のサポートを行うわけでもなく、事業所を閉